

2026 岐阜こども 福祉機器展



リハビリスタッフと見つける、この子らしい「できた！」のカタチ。

今年度もセラミックパークMINOにて「岐阜こども福祉機器展2026」を6月6日・7日の2日間にわたり開催し、無事終了することができました。今年度は出展企業数が50社となり、来場者数は1,757名（運営スタッフ・企業スタッフを除く）に達しました。昨年度を上回る多くの皆様にご来場いただき、盛況のうちに開催することができました。

6日には、岐阜マムウインドアンサンブル様をお招きし、生演奏会を開催しました。約32名の演奏者による迫力ある演奏は、会場を心地よい音楽で包み込み、多くの来場者の皆様楽しんでいただくことができました。準備を進める中で苦労や不安もありましたが、多くの方々が演奏に耳を傾ける姿を見て、胸が熱くなる思いでした。

また、7日には名古屋テレビ放送（メ〜テレ）様に取材いただき、来場されたお子さんへの同行取材も行われました。今回の福祉機器展の様子や、福祉機器を実際に活用している姿が広く紹介されることで、多くの方々に福祉機器の重要性や可能性が伝わることを願っています。

2日間を通して天候に恵まれない時間帯もありましたが、お子さんやご家族の皆様をはじめ、医療・福祉関係者、学校教育関係者など、多くの方々にご来場いただきました。特に近年は、ご家族だけでなく医療・教育関係者の参加も増えており、本展示会がさまざまな立場の方々をつなぐ場となっていることを実感しています。お子さんを中心として、多職種・他業種の方々がつながり、新たな出会いや知識の共有が生まれることで、誰かの力になれる機会を提供できたのではないかと感じています。

今後も岐阜こども福祉機器展が、困りごとを抱えるお子さんやご家族にとって有益な情報と出会いの場となるよう、さらなる発展を目指して取り組んでまいります。

文責：岐阜県理学療法士会 社会局 こども福祉部
栗本 大資

